

杜川リントロウ 個人出張公演

夏の企画会議ではいつも実演形式で歌ってみますが
声が大きすぎてだいたい怒られている芝居屋杜川リントロウを
あなたのところでちょっとだけなんかやらせてみませんか。
一人だけで伺い、どこでも歌ったりお芝居したり朗読したりいたします。

いつもいつでもだれとでも「個人出張公演」

歌あり昔話ありワークショップありお芝居ありなんでもあり

あの歌から始まり、絵本や朗読・ワークショップに昔話、音楽劇と盛りだくさんのコースです。
一緒に楽しく時間を過ごすことを主眼に演目はだいたい決まっています。内容は応相談、
「ワークショップ要素を強く」「地元の昔話を探して読んでみて」「合唱したい」「私も舞台に立ちてみたい」など
各種無茶振りにもなるべく対応いたします。



<基本構成>

「諸注意の歌」… 企画会議でお会いした方は知っているあの歌から始まります。みなさん今日はご来場ありがとうございます。
「自己紹介と小演目」… 自己紹介しつつインソップ童話などの軽い演目で場を作ってゆきます。
「昔話」… 大抵はたのしい昔話ですが要望によっては真面目な昔話や暗い童話も可能です。歌も前後に挟んだり。
「声のワークショップと大声競争」… 歌を挟みつつ、プロの発声方法の軽い体験のあと、声を競争してみます。
「音楽劇」… ラストは楽しいけどちょっとだけ真面目な音楽劇で締めます。通常は小中学生のちょっとだけ出演もお願いしております。

大人のための真面目な出張公演「名作を読む」

名作を背景から、作者の人生から読み解く。

名作には作品自体の輝きはもちろんですが作者自身の人生も深く関わっています。
そこで作者自身の波乱万丈で奇想天外な人生に焦点を当てて、
作者が表現に及ぶその軌跡と葛藤をリーディング形式で浮かび上がらせませす。
「なぜこの作品を書いたのか」、それを知れば作品の深みは増すことでしょう。
作者の人生を追いながら短編を数本紹介しつつ、最後に代表作品を朗読するスタイルです。
※公演会場は暗転ができる場所のみとなります。



<作品ラインナップ>

「耳なし芳一」と小泉八雲 … 黒人と結婚して離婚するなど数奇な運命をたどった彼が辿り着いた夢の国
「最後の一片」とO・ヘンリー … 駆け落ち、横領で逮捕、やがて作家。人生最後の8年で約400の作品を残した短編の名手。
「野ばら」と小川未明 … 日本のアンデルセンと呼ばれたが「古い児童文学」として否定された彼の珠玉の短編集
「美食の話」と北大路魯山人 … 傲慢で不遜、人間としては最低。しかし彼は芸術家であった

大曽根総合駅より徒歩3分に事務所あり **芝居屋杜川リントロウ**

〒462-0810 愛知県名古屋市中区山田1-1-43 杜川リントロウ公演事務所「PICO2」
TEL 090-1291-1603 E-mail t2197359@gmail.com URL <https://m-rintaro.jimdofree.com/>